

10月4日、外はどんより曇り空。第3回教室は、中間市の遠賀川下流浄化センターを見学しました。入口にある大きなマンホールが子どもたちを出迎えて、会議室で実験や説明を聞いた後、実際地下からくみ上げられて、きれいな水になるまでの過程を見ました。以前担当者から聞いた、「水は使っておわりじゃない」という言葉が企画の出発点。子どもたちの心に、この言葉はどう響いたでしょうか…。



珍しい！ カラーのマンホール



水処理施設見学

今回の教室では、9名のボランティアが協力してくれました。昼食後、郷土史に詳しいボランティアの協力で、遠賀町にゆかりのある菅原道真公(以下「菅公」と表記)の腰掛けた石や菅公にお茶をふるまつた茶の水井戸、高家天満宮に行きました。参道の途中でマンホールを観察したり、水にまつわる郷土史を学んだり、おさいせんを投げ入れ2札2拍手のお宮参りをしました。とても有意義な一日になりました。(事務局)



ポンプ施設



微生物発見！

### ボランティア紹介コーナー

2年連続参加の地頭所さん。今回は1班のリーダーとして子どもたちと積極的に関わりを持っていました。地頭所さんの声を聞いてみましょう！



社会人ボランティア  
地頭所さん

第3回の活動体験教室では、遠賀川下流浄化センターや宮の下公園などを見学しました。前回とは違う役割を担当し、慣れないこともありましたが、点呼を自主的に行うことで少しずつ前に立つことに慣れてきたと感じました。

まだリーダーとして十分に役割を果たせていない部分もあるため、次回はより積極的に取り組みたいと思います。